

ハロン湾地域グリーン成長推進プロジェクト

Project for Green Growth Promotion in Halong Bay Area, Quang Ninh Province

■背景

クアンニン省（QN省）ハロン湾地域は1994年に世界自然遺産に登録されたハロン湾を中心とした観光業を含む経済的な発展が著しい。その半面環境面でさまざまな課題を抱えている。

- ハロン湾周辺の社会経済開発活動（産業、観光、サービス、港湾、漁業、水産養殖など）によって引き起こされるハロン湾全域の水質汚染
- 同地域の重要な経済活動である石炭産業による水環境汚染、鉱業廃棄物の問題
- 産業発展による都市部の人口増加や都市化エリアの拡大と、不十分な環境管理や地域住民の環境保全に対する関心の低さ
- ハロン湾地域の廃水処理等に対する社会的メカニズムの欠如（インフラ設備の投資コストが高いため、当該施設への投資が不十分）
- 環境保護の責任に対する企業の環境意識の欠如
- ハロン湾地域の環境保全の課題を総合的に分析する研究機関の不足
- 地球温暖化や気候変動による経済への影響



課題克服のため、QN省はグリーン成長政策を掲げ、環境負荷低減型産業への移行と観光振興によるサービス部門への経済成長構造の転換を目指し、2015年にグリーン成長アクションプランを作成。⇒ 具体的な活動実施の支援をJICAに要請。

■ プロジェクトの目的と概要

上位目標

クアンニン省において、環境汚染型産業から低炭素・環境負荷低減型産業への移行を通じ、グリーン成長が推進される。

プロジェクト目標

ハロン湾地域において、重点産業部門での環境的に持続可能な政策の実施、及び観光セクターの開発政策の実施を通じ、グリーン成長が促進される。

成果2:選定された重点産業部門において、持続可能な環境管理活動を促進する施策がパイロット活動として実施される

成果1:成果2と成果3の活動に関するグリーン成長啓発活動が実施されるとともに、プロジェクトの実施を通じPost projectフェーズにグリーン成長を推進するための提言書が作成される。

成果3:持続的な観光セクターの成長を促進する開発施策がパイロット活動として実施される。

■ グリーン成長関連分野に関する5つのワーキンググループ(WG)によるパイロット活動の実践とベトナム側の制度化支援（JICA専門家チームとベトナム側CPメンバーによるPost Projectフェーズ提言書作成）

■ 各WGにおけるパイロット活動の概要

WG-1:環境管理及びグリーン成長に係る省レベルの基金及び財政メカニズム強化

- ◆ QN省環境保護基金の有効活用促進のための制度改善・広報活動



- ◆ グリーン成長促進のために必要な財政メカニズムの分析・制度設計

WG-2:ESCO及び補助金等の省エネ/エネルギー管理に係るインセンティブ促進

- ◆ 地元企業へのESCO事業導入のための調査の実施・提案
- ◆ 地元企業への省エネ診断の実施
- ◆ QN省担当部局によるESCO事業導入のための制度構築



WG-3:持続可能な観光振興

- ◆ 越・英・日の観光マップの作成等の観光情報発信の改善



- ◆ 離島（クアンラン島）におけるエコツーリズム観光開発
- ◆ Blue Sail認証のための条件と評価・承認プロセスの構築

WG-4:湾内直接負荷管理による水環境管理能力強化

- ◆ 湾内直接負荷軽減対策としての先進技術（バイオトイレ、コンポスティングプラント）導入



- ◆ 上記先進技術の導入を促進するインセンティブ制度の構築

WG-5:ハロン湾地域グリーン成長白書の定期的な公開による啓発活動

- ◆ QN省グリーン成長白書試行版作成・発行及び制度化支援
- ◆ 同白書を使用したグリーン成長啓発活動



滋賀県（地方自治体）との協力関係構築

本案件では滋賀県とQN省間の環境分野での連携強化を支援している。2017年には琵琶湖での取り組みを参考として、ハロン湾における様々な課題を解決するとともに、両県省の協力関係を構築していくことを目的とした相互協力のための覚書が両自治体間で交わされた。

